

2026 年 10 月 29 日

富士電機株式会社

## **2026 年度 第 2 四半期（中間期）決算説明会 社長 COO 挨拶**

皆さん、こんにちは。富士電機の近藤でございます。

本日は、お忙しい中、富士電機の 2026 年度上期の決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

2026 年度上期の決算につきましては、後ほど詳しくご説明申し上げますが、売上高、営業損益、経常損益、純損益はすべて過去最高を更新することができました。また、営業利益率は 10.1%となり、上期として初めて 2 桁に乘せることができました。プラント・システム関連が引き続き好調に推移していることに加え、データセンターや半導体工場の投資加速が多方面に波及し、コンポーネントの市況も大きく改善をしております。さらに、原材料価格の高騰が当初の想定よりやや落ち着いたことも、利益に貢献いたしました。受注につきましても、対前年で 1,500 億円強増加しており、引き続き好調に推移しております。

このような上期の実績、そして下期の見通しを踏まえ通期の業績予想は第 1 四半期に引き続き上方修正いたしました。昨今はデータ分析能力の向上により経営の予見性も高まってきており、皆様に経営状況を機動的アップデートしていきたいという意思のもと、業績予想を修正しております。なお、この予想を達成できれば、2026 年度も過去最高の業績を継続して更新することになります。

中間配当につきましては、直近の予想である 107 円から引き上げ、110 円と決定いたしました。また、期末配当予想を 130 円とし、前期との比較で中間は 19 円の増配、期末は 21 円の増配、年間で 40 円の増配を計画しております。配当性向 30%ということで、お約束どおり安定的、そして継続的にしっかりと還元を行ってまいります。上期が上振れ着地となり、年間の業績予想も上方修正しておりますが、事業環境や競争環境は引き続き変化しており、不確定要素も多々あると認識しております。下期もしっかりとしたオペレーションをこれからも続けてまいりたいと思っております。

どうぞ引き続きよろしくお願いいたします。

以上